平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名　山陽電気鉄道株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9052　URL　http://www.sanyo-railway.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 上門　一裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部マネージャー　(氏名) 荒木　素直　TEL 078-612-2032

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	22,945	△4.8	2,293	3.4	2,146	5.2	1,218	24.6
23年3月期第2四半期	24,112	△3.0	2,218	8.5	2,040	17.1	977	4.8

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　1,114百万円　(28.9%)　23年3月期第2四半期　864百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.95	—
23年3月期第2四半期	8.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	90,454	26,771	29.2
23年3月期	92,733	25,880	27.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　26,449百万円　23年3月期　25,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
24年3月期	—	2.00			
24年3月期(予想)			—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,787	△5.4	3,508	△17.9	2,911	△24.9	1,503	6.9	13.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	111,652,992 株	23年3月期	111,652,992 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	451,365 株	23年3月期	447,215 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	111,203,807 株	23年3月期2Q	111,214,423 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) P. 3 「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
決算発表補足説明資料 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年３月に発生した東日本大震災の影響により、個人消費の冷え込みが一段と増したほか、雇用情勢も依然として厳しい状況が続くなど、景気全体としては先行き不透明のままに推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社においては当社沿線への旅客誘致策を積極的に講じましたほか、山陽百貨店では、食料品等の売場をリニューアルするなど、さらなる収益拡大に努めました。

当第２四半期連結累計期間におきましては、外部顧客に対する営業収益は22,945百万円と前年同期に比べ1,166百万円（△4.8％）の減収となったものの、経費削減に努めた結果、営業利益は2,293百万円と前年同期に比べ75百万円（3.4％）の増益、経常利益は2,146百万円と前年同期に比べ105百万円（5.2％）の増益となり、四半期純利益は1,218百万円と前年同期に比べて240百万円（24.6％）の増益となりました。

①運輸業

運輸業におきましては、鉄道事業では沿線商業施設とタイアップした企画乗車券を引き続き販売いたしましたほか、当社沿線への旅客誘致をはかるため、本年５月に開催された「近畿・中国・四国Ｂ－１グランプリin姫路」の企画乗車券を発売しました。また、本年11月に開催のＢ級ご当地グルメの祭典「Ｂ－１グランプリin姫路」のPR活動についても積極的に行いました。施設面では、安全性のさらなる向上をはかるため、踏切支障報知装置設置工事や列車運行管理システム更新工事等を推進いたしましたほか、本年６月には明石川～林崎松江海岸駅間での第２期明石市内連続立体交差事業において、仮線路への切替を行いました。

自動車事業では、一部路線の延伸やお客さまの利用動向にあわせたダイヤ改正を実施するなど、さらなる利便性の向上をはかりました。また、送迎バスにおいて新規契約を獲得したほか、少人数でのご利用に便利な小型バス車両を導入し、貸切バスの受注拡大にも努めました。夏休み期間中には明石市の観光施設をめぐる都心循環バスを運行し、鉄道とも連携した観光旅客誘致に取り組みました。

運輸業全体では、昨年10月１日の第二種鉄道事業廃止による影響などにより、外部顧客に対する営業収益は9,038百万円と前年同期に比べ659百万円（△6.8％）の減収となり、営業利益は1,283百万円と前年同期に比べ191百万円（△13.0％）の減益となりました。

②流通業

流通業におきましては、山陽百貨店において「日本一生き生きとした百貨店」をめざし、食料品部門においてワイン専門店「エノテカ」、ジェラートやジュースを販売する「オッティモ」などの新規店舗を導入いたしましたほか、「初夏の北海道大物産展」をはじめとする集客力の高い催事を定期的に開催するなど、魅力的で賑わいのある店舗づくりを進めました。また、継続して経費削減にも取り組み、収支改善に努めました。

流通業全体では、昨年12月にサンヨーマートの店舗閉鎖があったことなどから、外部顧客に対する営業収益は10,439百万円と前年同期に比べ626百万円（△5.7％）の減収となりましたが、経費の圧縮等により、営業利益は157百万円と前年同期に比べ64百万円（69.8％）の増益となりました。

③不動産業

不動産業のうち分譲事業におきましては、大阪府吹田市で「ザ・千里ガーデンズ」、大阪市東成区大今里地区で「ブランズ大今里南」の建設・販売を進めました。また、賃貸事業では、神戸市垂水区小束山地区における大型商業施設「コストコ」等の誘致を通じて、長期的な収益基盤の強化をはかりました。

不動産業全体では、分譲の規模が前年より小さかったことなどから、外部顧客に対する営業収益は1,441百万円と前年同期に比べ18百万円（△1.3％）の減収となりましたが、賃貸収益の増加が寄与し、営業利益は734百万円と前年同期と比べ235百万円（47.1％）の増益となりました。

④レジャー・サービス業

レジャー・サービス業におきましては、須磨浦山上遊園において、春季および夏季の行楽シーズンに夜間営業を行いましたほか、飲食業では姫路地区で新たにファーストフード店をオープンさせるなど、さらなる収益拡大に努めました。

レジャー・サービス業全体では、外部顧客に対する営業収益は1,236百万円と前年同期に比べ59百万円（△4.6％）の減収となり、営業損失は32百万円（前年同期は営業利益26百万円）となりました。

⑤その他の事業

一般労働者派遣事業、設備の整備業などのその他の事業におきましては、本年９月に神戸市垂水区小束山地区に大型自動車整備工場をオープンさせるなど、さらなる収益拡大に努めました。

その他の事業全体では、外部顧客に対する営業収益は790百万円と前年同期に比べて197百万円（33.4％）の増収となり、営業利益は105百万円と前年同期に比べ6百万円（6.6％）の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

第２四半期の総資産は、前期末に比べて2,279百万円減少し、90,454百万円となりました。また純資産は前期末に比べて890百万円増加し、26,771百万円となり、自己資本比率は29.2％となりました。

増減の主な内訳は、資産の部では現金及び預金が1,132百万円、受取手形及び売掛金が832百万円、建物及び構築物が639百万円それぞれ減少し、また、分譲土地建物が312百万円、建設仮勘定が556百万円それぞれ増加しております。負債の部では支払手形及び買掛金が2,931百万円、流動負債のその他が1,181百万円それぞれ減少し、また、長期前受工事負担金が847百万円、固定負債のその他が498百万円増加しております。純資産の部では、利益剰余金が995百万円増加しております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、本年３月に発生した東日本大震災の影響による個人消費の低迷や雇用情勢の悪化等により、景気全体としては、依然として厳しい状況のままに推移するものと思われます。このような状況の下、平成23年５月13日に公表しました業績予想を変更いたしております。

通期の業績予想につきましては、第２四半期までの実績及び今後の見通しを勘案し、営業収益46,787百万円（前期比5.4％減）、営業利益3,508百万円（前期比17.9％減）、経常利益2,911百万円（前期比24.9％減）、当期純利益1,503百万円（前期比6.9％増）を見込んでおります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,651	7,518
受取手形及び売掛金	2,596	1,764
有価証券	700	700
商品及び製品	980	1,011
分譲土地建物	5,113	5,425
繰延税金資産	248	332
その他	635	879
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	18,924	17,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,958	33,318
機械装置及び運搬具（純額）	4,146	3,784
土地	18,580	18,445
建設仮勘定	6,397	6,953
その他（純額）	770	740
有形固定資産合計	63,853	63,242
無形固定資産	334	372
投資その他の資産		
投資有価証券	2,980	2,744
長期貸付金	45	51
長期前払費用	5,186	5,038
繰延税金資産	251	251
その他	1,175	1,139
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	9,621	9,209
固定資産合計	73,809	72,824
資産合計	92,733	90,454

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,381	4,449
短期借入金	7,178	7,323
1年内償還予定の社債	6,000	6,000
未払法人税等	551	1,022
賞与引当金	86	137
役員賞与引当金	32	－
商品券等使用引当金	337	330
その他	7,968	6,786
流動負債合計	29,535	26,050
固定負債		
長期借入金	22,389	22,281
繰延税金負債	418	224
退職給付引当金	1,672	1,315
長期前受工事負担金	5,391	6,239
受入敷金保証金	6,208	5,836
その他	1,235	1,734
固定負債合計	37,317	37,632
負債合計	66,853	63,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,090	10,090
資本剰余金	6,850	6,850
利益剰余金	8,603	9,599
自己株式	△126	△127
株主資本合計	25,418	26,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	36
その他の包括利益累計額合計	175	36
少数株主持分	287	322
純資産合計	25,880	26,771
負債純資産合計	92,733	90,454

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業収益	24,112	22,945
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	19,083	18,015
販売費及び一般管理費	2,809	2,637
営業費合計	21,893	20,652
営業利益	2,218	2,293
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	25	53
雑収入	265	218
営業外収益合計	298	278
営業外費用		
支払利息	346	321
持分法による投資損失	0	0
雑支出	128	104
営業外費用合計	475	426
経常利益	2,040	2,146
特別利益		
固定資産受贈益	12	1
固定資産売却益	－	0
工事負担金等受入額	－	9
特別利益合計	12	11
特別損失		
減損損失	3	－
固定資産除却損	8	9
投資有価証券評価損	63	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	181	－
工事負担金等圧縮額	－	9
特別損失合計	256	20
税金等調整前四半期純利益	1,797	2,136
法人税、住民税及び事業税	907	974
法人税等調整額	△91	△92
法人税等合計	816	881
少数株主損益調整前四半期純利益	981	1,255
少数株主利益	3	36
四半期純利益	977	1,218

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	981	1,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116	△140
その他の包括利益合計	△116	△140
四半期包括利益	864	1,114
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	862	1,079
少数株主に係る四半期包括利益	1	34

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（平成22年４月１日～平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	9,697	11,066	1,459	1,296	592	24,112	－	24,112
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	221	34	200	34	917	1,408	△1,408	－
計	9,919	11,100	1,659	1,330	1,510	25,520	△1,408	24,112
セグメント利益	1,475	92	498	26	99	2,192	25	2,218

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去25百万円であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	9,038	10,439	1,441	1,236	790	22,945	－	22,945
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	215	47	410	31	877	1,582	△1,582	－
計	9,253	10,487	1,852	1,267	1,667	24,528	△1,582	22,945
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,283	157	734	△32	105	2,247	45	2,293

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去45百万円であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

決算発表補足説明資料
（1）セグメント情報（連結）

（第2四半期連結業績）
外部顧客に対する売上高　（単位：百万円）

	23年9月期（実績）中間期	22年9月期（実績）中間期	増減額	増減率（%）
運輸業	9,038	9,697	△ 659	△ 6.8
流通業	10,439	11,066	△ 626	△ 5.7
不動産業	1,441	1,459	△ 18	△ 1.3
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	1,236	1,296	△ 59	△ 4.6
その他の事業	790	592	197	33.4
計	22,945	24,112	△ 1,166	△ 4.8

営業利益　（単位：百万円）

	23年9月期（実績）中間期	22年9月期（実績）中間期	増減額	増減率（%）
運輸業	1,283	1,475	△ 191	△ 13.0
流通業	157	92	64	69.8
不動産業	734	498	235	47.1
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	△ 32	26	△ 59	―
その他の事業	105	99	6	6.6
消去	45	25	19	77.4
計	2,293	2,218	75	3.4

（通期連結業績予想）
外部顧客に対する売上高　（単位：百万円）

	24年3月期（予想）通期	23年3月期（実績）通期	増減額	増減率（%）
運輸業	17,568	18,299	△ 731	△ 4.0
流通業	21,301	22,624	△ 1,322	△ 5.8
不動産業	3,885	4,567	△ 681	△ 14.9
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	2,646	2,603	43	1.7
その他の事業	1,385	1,370	14	1.1
計	46,787	49,465	△ 2,677	△ 5.4

営業利益　（単位：百万円）

	24年3月期（予想）通期	23年3月期（実績）通期	増減額	増減率（%）
運輸業	2,170	2,521	△ 350	△ 13.9
流通業	291	267	24	9.2
不動産業	841	1,225	△ 383	△ 31.3
ﾚｼﾞｬｰ・ｻｰﾋﾞｽ業	△ 23	40	△ 64	―
その他の事業	196	188	7	4.1
消去	31	32	△ 1	△ 3.3
計	3,508	4,275	△ 767	△ 17.9

(2)金融収支(連結)　　(単位:百万円)

	23年9月期(実績) 中間期	24年3月期(予想) 通期	23年3月期(実績) 通期
受取利息・配当金	59	103	47
支払利息・社債利息	321	750	680
計	△ 262	△ 647	△ 632

(3)減価償却費(連結)　　(単位:百万円)

23年9月期(実績) 中間期	24年3月期(予想) 通期	23年3月期(実績) 通期
1,538	3,032	3,071

(4)設備投資額(連結)　　(単位:百万円)

	24年3月期(予想) 通期	23年3月期(実績) 通期
運輸業	3,903	2,229
流通業	102	152
不動産業	183	847
レジャー・サービス業	72	48
その他の事業	200	11
計	4,460	3,289

(5)鉄道事業運輸成績表(個別)

(収入)　　(単位:千円)

	23年9月期(実績) 中間期	22年9月期(実績) 中間期	増減額	増減率(%)
定期外	3,084,301	3,599,743	△ 515,442	△ 14.3
第1種	3,084,301	3,151,052	△ 66,751	△ 2.1
第2種	－	448,691	△ 448,691	△ 100.0
定期	2,764,593	3,081,412	△ 316,819	△ 10.3
第1種	2,764,593	2,772,682	△ 8,088	△ 0.3
第2種	－	308,730	△ 308,730	△ 100.0
計	5,848,894	6,681,156	△ 832,261	△ 12.5
第1種	5,848,894	5,923,734	△ 74,839	△ 1.3
第2種	－	757,421	△ 757,421	△ 100.0

(人員)　　(単位:千人)

	23年9月期(実績) 中間期	22年9月期(実績) 中間期	増減	増減率(%)
定期外	10,392	14,506	△ 4,114	△ 28.4
第1種	10,392	10,652	△ 260	△ 2.4
第2種	－	3,853	△ 3,853	△ 100.0
定期	16,637	21,416	△ 4,778	△ 22.3
第1種	16,637	16,712	△ 75	△ 0.5
第2種	－	4,703	△ 4,703	△ 100.0
計	27,030	35,922	△ 8,892	△ 24.8
第1種	27,030	27,365	△ 335	△ 1.2
第2種	－	8,557	△ 8,557	△ 100.0

(注)　平成22年10月１日より第2種鉄道事業を廃止しております。